



アダプテッドスポーツ大会の様子



理事長就任挨拶



学校法人東日本学園 理事長 鈴木 英二

昨年10月1日より、学校法人東日本学園の理事長を務めさせていただくこととなりました。私は、この法人に40年以上事務職員として勤務してきましたが、これまでの経験を生かしながら、新たな課題や現場からの要望に速やかに対応できるよう、機動的な運営に努めていきたいと考えております。

学校法人の務めは、人的・物的・資金的な支援を通じて、設置する大学・専門学校等の運営が円滑に進められるようサポートすることにあります。また、大学の使命として「教育・研究・社会貢献」の三つが挙げられておりますが、本学の場合は私立の医療系大学ですので、学生が必要な資格を取得し社会で活躍するために必要な教育を行うこと、このことが本学に課せられた第一の使命だと思っております。特に今後は、大学に入学したばかりの学生に対して大学での生活習慣や学習に必要な基本的態度を身につかせる、いわゆる「初年次教育」の充実が求められておりますので、こういった方面へのサポートも強化していきたいと考えております。

この2年にも及ぶコロナ禍のもと、大学をめぐる諸環境はかつてないほど厳しい状況にありましたが、昨年6月から始まった「職域接種」では医療系総合大学である本学の特色を生かし、全国の先陣を切ってスタートすることができました。このことは学生、教職員さらには地域住民の健康に貢献したばかりでなく、保健・医療・福祉の連携統合という本学の教育理念を深め実践するという意味からも大変有意義な取り組みとなりました。引き続き、感染拡大の

防止に努めながら学生・教職員の皆さんが安全・安心な大学生活を送ることができるよう、環境整備に努めていきたいと考えております。

法人経営上の課題としては、授業料収入や補助金収入への依存体質から脱却して、新たな収益部門の設置などを視野に経営体質の強化にも努めてまいり所存ですが、これから続いていく18歳人口の減少にどう対応していくのか、ポイントはこれに尽きると思います。今年初めて全国の実入学生総数が入学定員総数を下回る事態となりました。このようななか、本学もほんの10年ほど前までは約半数が道外からの入学生という時期がありましたが、再びこのように全国から学生が集まる大学となるよう、そのブランド力を高めていかなければなりません。さらには、これまでも東南アジアを中心に海外からの学生・大学院生の受け入れを行ってきておりますが、大学のグローバル化・国際貢献の観点からも、こういった海外からの学生受け入れをより積極的に進めていきたいと考えております。

本学は2年後に開学50周年を迎えます。それまでに検討しなければならない事項は山積しておりますが、逆にこの2年間で好機ととらえ、すべての可能性を排除せず、可能な限りオープンな場で議論を進めていきたいと考えておりますので、教職員ばかりでなく、同窓生、学生、学生ご父母の皆様からも忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

今後とも引き続き皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

理事長就任挨拶	1
定年を迎える先生からのメッセージ	2
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介 2021年度 理事長表彰	
OPEN CAMPUS 2021 開催報告	3
アダプテッドスポーツ大会 開催報告	
同窓会活動状況	4
コロナ関連最新情報	6
コロナ禍で活躍する学生たち	
2021年度 就職相談会を開催しました。	8
スポーツを支える各学科の 教員特集Vol.2	
OG訪問[歯学科]	9
JR「当別」駅から徒歩1分の 本学専用寮に新館(2号館)が完成しました。	10
インターネットによるご寄附が可能です	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	